

## クリスマス等電飾器具の安全

この季節、クリスマスのイルミネーションで部屋やお家を飾りつけるもの楽しいですね。しかしながら、普段設置されていない電飾は思い掛けず建物火災の原因となります。安全かつ正しく電飾を楽しむために次のポイントを注意しましょう。



クリスマスライトの電線を注意深く点検して下さい。 欠けていたり、損傷がある場合には、新しいものと交換しましょう。



新しいクリスマスライトを購入する場合、ETL 北米安全認証マーク又は、UL 製品安全認証マーク、日本の PSE マーク等の安全試験を受けたラベルが箱にあるものを選びましょう。



電飾は取扱説明書に沿って設置します。 その取扱説明書には同時に使えるライトの配線（回路）数が書かれてあります。 原則として、UL は、一緒に使用する標準的な電飾では、3つまでと推奨しています。 吊り下げ型又は、はめ込み式ライトはコードの絶縁体に損傷がないかを注意深く確認します。



自動タイマーは、再度設定を確認し誤って、つけっ放しで置かれたままにされていないかを確認します。 タイマーは、屋内用、屋外用を確認して正しいタイプを選択しましょう。



一度に大量のライトをコンセントにつながないようにしましょう。 サージ保護装置を使用しましょう。

就寝時や外出時は、全てのクリスマスライトはコンセントから外しましょう。



カーペットの下に電気コードが敷かれていないようにしましょう。また、コードは人が歩く場所を避けて取り付けます。



クリスマスライトの電球を取り替える場合は、消費電力が取り付け器具に合ったものかを確認します。



子供の感電を防止のために、空いているコンセントに安全キャップを付けましょう。